

ローヤルグニュース

No.173

発行 ローヤル油機株式会社 2009年元旦

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HP アドレス <http://www.loyal-grease.jp/>

謹賀新年

旧年中は、格別のお引き立てを賜り
ありがとうございました。

本年も、一層のご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます。



「年頭のご挨拶」

あけましておめでとうござい
ます。

天井知らずに続いていた原油
と穀物の高騰も、バブルの崩壊と
同じようにやはり天井はあった。

原油価格が急激な下降線をた
どり始めると同時に、アメリカの
景気は失速しかつて経験したこ
との無い猛烈な不況の波が全世
界を覆い始めた。

それは、T型フォードに始まっ
た大量生産・大量消費によるアメ
リカ型の資本主義の終焉を意味
するのではないかと思える。

大量生産は大量消費を促し、世
界の資源を食い尽くし、やがて地
球の環境まで破壊してしまう。ま
た、インドのタタ自動車に代表さ
れる低価格車は、価格破壊を推し
進め、場合によっては大量のごみ
を生み出しかねない。

大量生産は、製造業のバックボ
ーンである。もの造りの精神。さ
えなくしてしまふのではない
かと危惧しているのは私だけ
ではないだろう。

『新しい時代』

特に、日本は資源の乏しい国で
あり、原油・鉄鉱石といった鉱物
資源を輸入し高度な機械製品に
姿を変えて輸出している。

機械は、人間が人間の役に立つ
ように造られたものであり、役に
立たない機械など動かない自転
車や飛べない飛行機と同じであ
る。何億何百億円の機械であるう
と、正しく動くことによってはじ
めて人の役に立つことが出来る。

機械は、人が造り・人が動か
し・人がメンテナンスすることに
よって生かされ、機械本来の仕
をする事ができる。

私たちは、一台一台の機械を大
切にすることを心がけ、潤滑油の
分野で皆様の良きアドバイザー
となつて行きたいと考えており
ます。

ムダを減らし、必要なときに必
要なものが必要なだけ使つてメ
ンテナンス出来るように、創意工
夫を重ねてまいります。

新しい時代は、大量生産・大量
消費から地球に優しい時代にな
ることではないでしょうか。

☆ あとがき ☆

昨年は、東京に住む妹夫妻の薦めもあって初めて江戸城の中を見学しました。大手門より入城し、東御苑の白鳥濠から汐見坂を上り、天守閣のあった跡で記念写真を撮り、北桔橋門から北の丸公園を散策しました。

田安門から千鳥が淵まで約2時間のコースは、大都会のオアシスをゆったり歩いた気分になりました。今年こそ、“グリースで日本一”がんばります。

